

◆ PW工法 水路補修工法

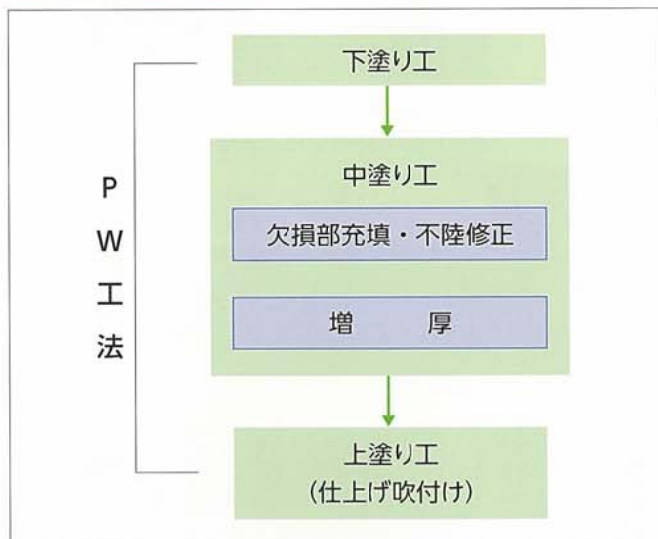
Polymer cement mortar magnetite
Waterway coating

PW工法は、水路内面にコンクリート保護材であるマグネラインタイプIを吹き付け、断面修復保護材(モルベストモルタル)をコテ塗りすることにより、既設コンクリートと保護材が一体となり劣化した水路構造物を修復するとともに長年にわたり保護します。

特長

- ① 既設構造物を補修するため廃材の発生を最小限に抑制できます
- ② 新設より工期が短くなります
- ③ 大型の機械を必要としないので、狭い場所でも施工が可能です
(山腹水路、人家脇でも施工が容易)
- ④ 湿潤状態(湧水は除く)でも施工が可能です
- ⑤ 付着力が大きく、薄厚からのすり付けが可能です
(厚みが薄くても耐衝撃性がよく、はく離しにくい)
- ⑥ 耐摩耗性に優れる(摩耗減量 モルタルの約1/5)
- ⑦ 粗度係数はコンクリートと同等です
- ⑧ 飲料水適合試験にも合格した安全な材料です

施工フロー



三面水路施工の流れ



超高圧水ケレン



増厚



施工完了

物性表

モルベストモルタルの物性表(代表実験値)

項目	試験方法	試験値
圧縮強度	JIS A 1171 準拠	53.0N/mm ² (日塗検)
曲げ強度	JIS A 1171 準拠	11.2N/mm ² (日塗検)
コンクリートとの付着強さ	JHS 416	—
硬化収縮性(長さ変化率)	JIS A 6203 準拠 (JIS A 1171 に同じ)	0.055%(社内試験値)
摩耗量	JIS A 7204 摩耗輪 H22/9.8N/1000回	3.05g (PWシステムによる)
透水量	JIS A 6203 準拠 (JIS A 1171 に同じ)	—

その他の物性

飲料水適合試験		水質基準 50項目に適合	H16年九州環境管理協会
衝撃試験	JIS G 3492 1993	650g鋼球 2.4m落下 異状なし	H12年日本塗料検査協会
多面的衝撃試験	ロサンゼルス試験	1000回転 接着界面のはく離なし	



施工事例

取水口



施工前



施工後

三面水路



施工前



施工後

堰堤



施工前



施工後